

# Check! 大綱質疑・質疑

3月定例会では  
4会派が大綱質疑、  
5人が質疑を  
行いました。

## 施政方針

**Q** 高等教育機関建設事業や、スポーツ・文化・交流複合施設建設事業など大型プロジェクトが続いているが、これらの施設整備が今後の三条市にどのような効果をもたらすのか。

**A** 大型プロジェクトについては、高等教育機関は、ものづくりのまちとしての人材育成や、看護師不足への対応にとどまらず、人口減少の要因となる若者の転出抑制を図るものであり、体育文化会館や図書館等複合施設は、高齢化が進行するまちなかにぎわいを取り戻していく効果が期待できる。

**Q** これまでの施政方針演説に比べると、シンプルな内容だったが、いずれは市長の職を辞することの表れか。市長職にあるうちは、もっと真摯に市政に向き合うべきでないか。

**A** 昨年から状況に鑑みれば、少なくとも今期の任期満了までに市長

職を辞することになるが、市政に無用な混乱を与えないよう総合的に勘案したいということとはこれまで同様。他方で、市長の職にあるからには、これまでその職責を全うするため力を尽くしてきた。作成時点におけるさまざまな局面、要因、要素に思いを巡らしたとき、このような形で作成することが最善と考えた。

**Q** 若年層の転出抑制について、三条市が東京への人口供給基地にならないよう来春の開学を目指す三条市立大学に期待を寄せている。文部科学省の許可のこともあるが、学生の確保が重要であり、早めに募集を進めるべきである。この大学は新設であり知名度もない。既存の大学とは違って特別な広報などをどう考えているか。工事は順調に進んでいるか。

**A** 大学の設置認可が下りた時点から募集ができるので、本年9月頃から行えると考えている。設置認可後にオーブンキャンパスを実施するなど、積極的に募集に入りたい。工事の進捗については、校舎棟および体育館棟の工事を発注しており、いずれも順調に進捗している。

**Q** 只見町および南会津町と連携した広域観光の在り方について伺う。

**A** 三条市が通過点となることなく、

観光客から目的地として選ばれるためには、国道289号沿線の只見町、南会津町と広域的に連携し、魅力的な観光資源が集積する地域として発信していくことが重要。さらに北関東方面から当市への新たな観光ルートも期待される。

**Q** 海外販路開拓について、ジャパン・ハウスサンパウロはいつ開催するのか。

**A** 開催時期については、令和3年の実施に向けて、今後はジャパン・ハウスサンパウロ事務局及び燕三条工場の祭典実行委員会と協議を進めていく。

**Q** 包括的維持管理業務委託の評価や全市への取り組みについて伺う。

**A** 地区ごとに受託業者と市職員での月例会議の中で評価及び検証を行い、インフラの損傷箇所を早期把握、工事着手までの時間の短縮、早期補修によるコスト削減の効果を確認している。

**Q** 自治会長へのアンケート調査でも対応が早くありがたいとの肯定的な評価を多数頂いている。今後は嵐南地区及び須頃、大島地区で令和6年度導入に向け、建設業界と連携し検討を進める。

営安定化に向けた金融支援事業を実施する。

**Q** 市の施設以外で重篤化の可能性が高い、特にケアが必要な方が利用する施設が安定的にサービスを継続できるように、マスク等必要な資機材の提供を行う。

**Q** 市が備蓄するマスク約140万枚を市内薬局等に供給するのか。また中学校の卒業式は行われていないが、今後どうするのか。

**A** 市の備蓄マスクは、必要なタイミングで必要な措置をする。  
**Q** 中学校卒業式は、ウイルスの感染状況の様子を見て、生徒たちの気持ちを配慮しつつ適宜適切な判断をしていく。

**Q** 県が実施する特別融資について、三条市が信用保証料の一部を補助するというものだが、売上高の減少など、いくつか条件があるのではないか。

**A** 新型コロナウイルスの影響により損害が生じている、または今後の資金繰りなどに支障を来すおそれがある中小企業等であり、売上等の減少割合という要件は今回設定されていない。

**Q** 雇用調整助成金の申請で社会保険労務士への手数料について、上限10万円を補助する事業である。雇用調

## 1 議案 令和2年度三条市一般会計予算

**Q** インターンシップ促進事業について、三條市立大学で予定されているインターンシップとの関わりはどうか。

**A** 実践的なインターンシップは、企業および大学生の要望に応じ期間、業種を設定し、首都圏の大学生に焦点を当てた取り組みを行う。三條市立大学は、在学生を対象とした製造業へのインターンシップを行うもの。

**Q** 庁舎の耐震補強工事は高層棟にブレース等を設置することだが、これら補強材を設けると重量がかかり、くいの支持力が持たないのではないか。

**A** 建物周囲に鋼管ぐいを打設し、補強材の重量を負担する計画だ。

**Q** 新規事業の補聴器購入費用助成は、来年度以降どう推進していくのか。

**A** 認知症予防を目的とした購入費用助成だ。県内では珍しい先進的な取り組みだ。スマートウエルネスや生活習慣病予防なども積極的に展開し、認知症予防の効果的な取り組みにしたい。

整助成金は本来直前3か月の売上減少が条件のものを、今回は直前1か月の売上減少も対象にすること。既に社会保険労務士を通じて雇用調整助成金の申請をされた事業所も、この手数料補助の対象になるのか。

**A** 例えば、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、受注量が減り事業活動が縮小してしまった場合、今回の特例措置で休業等の初日が令和2年1月24日以降に初日の休業などがある計画届が提出されれば適用される予定である。

## 26 議案 令和元年度三条市一般会計補正予算

**Q** 大崎山公園展望台の改修工事について建設から何年経過しているのか。

**A** 昭和47年3月に竣工しており、47年が経過している。



大崎山公園展望台

## 11 議案 監査委員の選任について

**Q** 大久保監査委員はなぜ辞められるのか。

**A** 3期12年勤められた本人からの申し出である。

**Q** 監査委員に監査請求をしており、24日が期限であるが大丈夫か。その理由は新しい監査役はプール訴訟の経緯、市長、教育長の人となりをご存じないのでは。また、裁判の経緯、議会でのやり取りメディアの報道等をご存知か。

**A** 答弁なし。

**Q** 市長の意向が反映されてのことか。一切そのようなことはない。

**Q** 地方自治体の財務監査は問題ないのか。

**A** 問題ない。

## 19 議案 三条市東三条駅前駐車場条例の一部改正について

**Q** 駐車場の使用時間を終日とし、あわせて料金改定が行われる。夜の